

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	火災予防意識啓発事業				
基本目標	安全・安心なまちづくり				
基本施策	消防・救急体制の充実				
施策	火災予防を推進します				
所属名	消防本部予防課				
事業開始年度	平成23年度	事業終了年度	平成31年度		
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業以外
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金あり	外部化等改善	協働
非実施影響	全体に障害	緊急性	市に有利性	実施時効果	一部利便性向上
根拠法令等	消防法第1条外				
事業概要	市民の火災予防意識を高め火災発生を抑制し、火災等の災害から生命及び財産を守る。年間を通して市民及び市内事業所等の在勤者を対象に火災予防意識の高揚を図り、火災等の災害発生を防止するための啓発活動を実施する。				

2. 主な指標の状況							
	項目	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	フェスティバル豊田（消防広報共催）来場者	計画値	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	フェスティバル豊田（消防広報共催）来場者	計画値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	C：見直し継続
これまでの見直し及び改善の経過	フェスティバル豊田等イベント事業に係る人件費等の見直しを図り、本部は代休対応、消防署職員にあっては当直対応を基本とし、人件費の軽減を実施。住宅用火災警報器設置・点検促進については、イベント等に積極的に参加し、外郭団体との連携を図り人的不足等を解消し広報活動を展開する。
活動単位の評価	フェスティバル豊田については、天候事象により来場者数にバラツキが認められる。火災予防意識啓発活動については、一定の効果が見込まれるため引き続き、事業を継続する。
見直しが必要な項目	フェスティバル豊田については、新規企画を立案し更なる集客率の向上を図る。外郭団体事業については、事業内容を見直し、火災予防意識啓発向上に繋がるよう改善する。

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	フェスティバル豊田は、消防と市民の触れ合う唯一の大型イベントとしての位置付けなので、消防業務をPRするイベントの絶好の機会である。しかし、来場者数が昨年度は前年度を上回ったが、会場の広さ及び他参加団体との調整もあり現状のまま継続が妥当であると判断する。住宅用火災警報器設置・点検促進啓発広報については、外郭団体等と連携し継続する。事業所における査察については、本部及び署所と連携を図り違反対象物の是正に取り組む。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	フェスティバル豊田については、県職員との協働により、ノベルティの費用負担及び人員不足等の軽減を図る。開催場所を再検討し、より集客率の高い場所を選定するよう調整する。査察については、本部及び署所の情報共有を目的とした、意見交換会を二か月毎実施し、担当者の抱えている問題点等を改善していく。住宅用火災警報器の設置率の低い地域を対象に自治会と連携しチラシ等の回覧により設置・点検の促進を促す。
活動単位の中長期的な方向性	フェスティバル豊田については、車両展示及び住宅用火災警報器の設置・点検啓発活動は引き続き継続し、新たな企画を盛り込み集客率の向上に努めることが必要な時期になっている。磐田市消防イメージキャラクター「べっくん」を活用し、さらなる集客率の向上を図る。住宅用火災警報器の設置・点検促進広報については、外郭団体及び県担当課職員と連携を図り、火災予防意識啓発の向上に努める。